

## モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2002年7月23日

前週に引き続き高温・乾燥気象となった。この為土壌水分は更に悪化した。この週の州平均農作業可能日は6.7日であった。Topsoilの水分は、州の28%の圃場で“極めて不足”、42%で“不足”となっている。“適”と報告されている圃場は27%と成っている。Subsoilの41%が“極めて不足”、37%が“不足”と推定されている。冬小麦の生育状態は、前週と殆ど変化していないが5平均より良い状況である。冬小麦は99%（昨年及び平年同期では100%）の圃場で出穂した。高温・乾燥により登熟が早まっており、85%の冬小麦がTurning colorに到達した。昨年同期では87%、平年では90%がTurningであった。春小麦の94%（前週末89%）が穂孕み期であり、昨年（100%）並びに平年（99%）より遅れている。春小麦の82%（昨年97%、平年93%）が出穂した。生育は遅れ気味であるが、既に3%が登熟期に入っており、昨年並びに5年平均の2%を上回っている。乾燥・高温が十分な澱粉の蓄積の無いまま登熟を速める結果を生んでいる。春小麦の作柄は前週より悪化し、昨年並びに平年より悪い状況である。

2002年7月21日現在

土壌水分：

Topsoil

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Very short (%)	28	32	15	18
Short (%)	42	37	29	39
Adequate (%)	27	29	53	41
Surplus (%)	3	2	3	2

Subsoil

Very short (%)	41	37	33	23
Short (%)	37	38	36	38
Adequate (%)	22	25	30	38
Surplus (%)	0	0	1	1

冬小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	7	22	44	23	4
Last week (%)	7	24	47	19	3
Last year (%)	35	34	17	12	2
5-yr. Ave. (%)	10	18	31	36	5

春小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	6	18	39	33	4
Last week (%)	3	10	38	40	9
Last year (%)	22	13	20	34	11
5-yr. Ave. (%)	7	12	31	42	8

## モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2002年7月21日（続）

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Winter wheat				
Headed (%)	99	95	100	100
Turning (%)	85	63	87	90
Ripe (%)	19	na	38	30
Spring wheat				
Boot (%)	94	89	100	99
Headed (%)	82	63	97	93
Turning (%)	31	14	50	34
Ripe (%)	3	na	2	2

Source: Montana Agricultural statistics Service